

ポリテクセンター京都で

京都府溶接技術競技会が開催されました

令和 7 年 4 月 26 日（土曜日）にポリテクセンター京都にて、京都府、一般社団法人京都府溶接協会、京都府鉄構工業協同組合が共催する令和 7 年度京都府溶接技術競技会が開催されました。当センターは、協賛として参加しました。

溶接は工業分野に欠かせない技術です。最近では、新しい技術や製品、材料の開発が進み、より高度な技術が求められています。こうした技術の向上には、優れた機器や材料だけでなく、作業者の技量も欠かせません。本競技会の目的は、溶接作業者の溶接技術の向上を図り、産業の一層の発展に寄与することです。

競技会には府内企業から約 50 名の選手が参加し、被覆アーク溶接、半自動溶接、TIG 溶接の各部門で日ごろの技術を競い合い、参加者はそれぞれの部門で優れた技術を披露し、熱戦を繰り広げました。被覆アーク溶接及び半自動溶接（裏あて金なし）部門の京都府知事賞受賞者は、10 月に富山県で行われる全国溶接技術競技会の京都府代表として推薦されます。

開会式では当センターの中村所長が協賛者を代表して挨拶し、溶接施工技術科の宇治職業訓練指導員が競技上の注意点を説明しました。



競技会の様子



中村所長による挨拶



宇治指導員による競技説明

ポリテクセンター京都では、企業の生産現場が抱える課題解決のために、溶接をはじめとする機械分野と電気・電子分野に関し、実習を中心とした能力開発セミナーを体系的に実施しています。また、あらゆる産業分野で必要とされる生産管理、DX の推進、組織マネジメント等を習得する生産性向上支援訓練も実施しています。ぜひ、ポリテクセンター京都の生産性向上、人材育成メニューをご活用ください。